

令和7年度 評価基準

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	月	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学に取り組む態度
情報に関する技術	4	『クロックルレポートの制作』		「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
	5	①身の回りにある計測・制御システムを調べる。	計測・制御システムの基本的な構成を理解している。		
	6	②計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。	計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。		
	7	③計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。発見した問題を解決するための課題を設定する。			
	8		入出力されるデータの流れを基に計測・制御システムを構想する力を身に付けている	入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。	他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
	9	④プログラム学習 ・順次処理・反復処理・分岐処理のプログラムの作成	順次処理、反復処理、分岐処理の記号の意味を理解し、フローチャートでプログラムを表すことができる。		
	10				
	11	⑤電気製品と処理			
	12	・電気はんだごての構造とエネルギー変換について			
	1	エネルギー変換の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。	エネルギー変換の技術の概念について理解している。	エネルギー変換の技術の最適化について考えている。	自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
エネルギー変換の技術	2				
	3				